

## DX 講話「Re : ゼロから始める DX 生活」



工科短期大学校 学科主任兼教授 野瀬 様

### 講話内容

- ・アメリカの高校生が、介護する家族の負担を減らすためのツールを開発した事例
- ・DXについて（DとX、デジタル化との違い、DXの本来の考え方、人材）など

### 学生のワークシートから抜粋

#### 【わかったこと等】

- ・DXとは、デジタル技術を活用したビジネス構造の変革。デジタル化が目的ではなく、今の「辛い、不幸、不便」な状況を変えて幸せになること。
- ・デジタルツールは変革を起こすための道具。
- ・DX人材に求められている3つの基本は
  1. スキル（情報、デジタルに関する専門知識）
  2. リテラシ（対象とする領域の基礎知識）
  3. マインドセット（取組むモチベーション）
- ・常に向上心があり、積極的に挑戦する人材が理想のDX人材だと分かった。
- ・今までDXの本質を知らずに話を聞いていたが、今回、DXとはデジタル化が目標ではなく、その先の変革が大切ということが分かった。
- ・ケネス君（当時高校生）が、徘徊する叔父の介護で大変な叔母のために、叔父が歩いたら叔母のスマホのアプリに知らせる装置を開発した。好きな電子工作を活かして監視装置を作りたいからではなく、家族を幸せにしたかったから。
- ・今の状況を変えて幸せになることがDXの本当の意味。ただのデジタル化が目的になってしまうと、もっと不幸になることもある。
- ・日本では、「DX」の言葉が独り歩きしてバズワード化し、意味が変わっている。
- ・DXの「X」は「変わる事、変革」
- ・DX化はデジタル化が目的だと思っていたが、お話を聞いて、現況を変えて幸せになることがDX化なのだと分かった。

【考えたこと、感想等】

- ・デジタル化を目的にするのではなく、何をしたいのか、DXの「X」の部分を考えなければならないと思った。「D」はただの道具であり、必ず使う必要があるわけではないと思った。
- ・(DとXの) てんびんの例えがとても分かりやすく、理解しやすかった。
- ・DXの目的はデジタル化だけではないことが分かり、DXに対するイメージが変わりました。
- ・ちょっとした工夫をどんな時も考えられるようにしていきたい。
- ・スキル、リテラシ、マインドセット、を大事にしていきたいと思った。
- ・家族を幸せにするために、歩いたらアプリに知らせる装置を作った高校生はすごいと思いました。
- ・すごく分かりやすかった。DXについての理解が深まった。
- ・今回のお話を聞いて、DXについての考え方が変わりました。
- ・これからはDX化が進むので、自分も理想のDX人材になれるようにしたい。
- ・今回のDX講話で、DXはXが大事で、Xは「状況を変えて幸せにする」ということを知りました。今後は、家族や会社で「X」を大切に、「D」を高めたいです。
- ・DXの意味や、これからの有り方などを考えることができました。
- ・今までDXのことについて曖昧な答えしか持っていませんでしたが、今回の講座を通してこれからDXのことをしっかり考えていきたいと思いました。
- ・スキル、リテラシ、マインドセット、をこれからは少し意識しながら生活できたら良いと思います。特にマインドセットです。